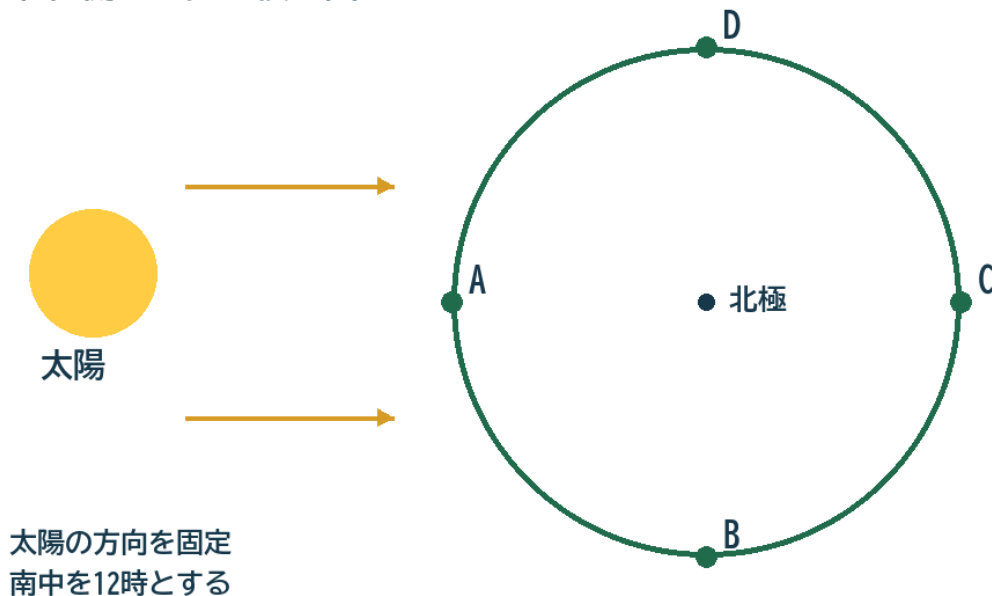


天体の図は「北と正午」から

問題ページ

北極側から見た模式図



1 時刻を書き込む

図のA～Dの時刻を答えましょう。太陽の南中を12時とし、地球は北極側から見て反時計回りに自転します。

A : ____時 B : ____時 C : ____時 D : ____時

2 観測者の南北を決める

Bの位置で、図の中心へ向かう側は何方位ですか。その反対側は何方位ですか。

中心側 : _____ 反対側 : _____

3 太陽の位置が変わったら

太陽を図の右側に置き直しました。南中を12時とすると、CとDはそれぞれ何時ですか。

C : ____時 D : ____時

日本付近の観測地点を表す模式図です。実際の時計での南中時刻は場所や日によって変わります。

天体の図は「北と正午」から

解答・復習ページ

1 A=12時、B=18時、C=0時、D=6時

Aから反時計回りにA→B→C→Dと進みます。模式図で90度進むごとに6時間です。

2 中心側が北、反対側が南

この北極側から見た図では、中心が北極です。紙の上をいつでも北と決めず、観測者の位置から考えます。

3 C=12時、D=18時

太陽が右なら、太陽を南に見るCが12時です。そこから反時計回りに進むDは18時です。位置だけを暗記しないようにしましょう。

ご家庭での問いかけ

「今どこにいる？」「北極はどちら？」「南はどちら？」

答えだけでなく、図のどこを見て判断したかを説明してみましょう。

北極側から見た模式図

